

令和3年度（第3回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和4年1月28日（金）
13：30～15：00
場 所：北九州国際会議場
3階 32会議室

1 事業内容説明について

【事前評価1】新門司工場基幹改良工事（延命化）

～事業課より資料9に基づき説明～

2 内部評価結果について

～事務局より資料11に基づき説明～

3 質疑応答について

○構成員

スライドの10ページを見ていますと、今3工場でごみの処理をするという話がありますが、これくらいの都市の規模であれば安定してうまくいくのか、処理能力が足りないのでありえないと思うのですが、仮に2工場にした場合のデメリットはあるのでしょうか。

●事業課

3工場が2工場になったときは、説明の中ではまずは災害ごみとか他都市ごみの受け入れができませんという説明をさせていただきました。それと市内ごみについてもオーバーホール時にはなかなか難しいということがございます。

それとこれが2工場になったときというのを考えますと、特に最近起きていることなのですが、例えばごみピットの火災などがございます。最近リチウムイオンバッテリーなどが原因でごみピットの火災が全国で問題となっております。ごみがそうやって燃えますと搬入を止めるといった処置が必要になります。そうすると2つのうち1つの工場が止まるという事ですから、非常に影響が大きいと考えられます。

それと皇后崎工場は令和13年ごろから先を示しておりませんが、これは今後、もう少ししてからご意見をいただきながら、建替えるかどうかの判断をしていきますので、そういった意味でこういった絵にさせていただいております。

○構成員

この基幹改良というのは1回しかできないのでしょうか。1回してしまうと建替えるしかできないのでしょうか。

●事業課

基幹改良の回数ですね、確かに何回も実施できれば2回目の基幹改良で40年持たせるとかもあるかと思いますが、実は今建替えを行っています日明工場はこちらも1度基幹改良を行っています。そしてその後30年程度みたところで、さらにやれるかどうかを現場の目を見て、その際にもう少しいけるだろうということで4年ほどは少し手をいれて延命した、ただもうここはやはり限界だということで設備の従業員も判断しておりますので、新門司につきましても改めてその辺の状況を見て判断をしたいと

思っております。

○構成員

C O 2削減率 3%以上という事で、これに関しては適用条件を満たすように頑張っていたかと思っております。

●事業課

これに関しては事業の必要性が認められましたら、事前評価 2 でしっかり数字を示していきたいと思っております。

○座長

基幹改良や建替えについては、時期のタイミングはずらした方がいいですよ。時期が全部そろってしまうと 3 工場同時に使用できない場合も考えられますので、むしろそのところのずらし方が大事かもしれませんね。

●事業課

これはおっしゃる通りのところがございまして、大きな事業が重なるとやっぱり市の財政的には非常に苦しいところも出て参ります。

そのようなこともありまして、先ほど言った日明については少し 4 年延命化するとか、調整も可能になるかと思えます。

○構成員

3 工場の必要性に関しましては今ご説明いただきましたように 3 工場体制でやっていくという処理が必要であるということ、そして、処理能力が低下している耐用年数というのを間もなく迎える時期に来ているということで、今回のこの事業実施ということについてはよく理解したところでございます。重複しますが、建替えではなくて延命ということを選択するというのも多分、今の見直しも変わってきたり、あとはこれからの人口減少などがどうなっていくのかとかいうことを検討する上で、今 3 工場である必要性ということも説明をいただきましたが、2 工場でもできるかとかいった判断も、多分今後またしていく時期が来るということになれば、今建替えるというよりは延命をすることによってそういった形のリスクもここでヘッジできるだろうなというところで、この手法をとるとということも理解できたところでございます。

ただ、質問というよりはコメントになるのですが、10 ページの処理能力のところで一時的に他都市のごみも含めると、あと平成 26、7 年ぐらいですかね、少し超えている時期があったかと思えますがそこでもやれたんじゃないかとかいうところもちょっと疑問に思えます。上がっている部分はどういうふうに理解すればいいのかというところです。

あとは 16 ページで、経済性ということでは、平均して 2.3 億円のコスト削減効果があるというようなご説明でしたが、ただ、この建替えと、そして基幹改良の建替え期間も一時点だけ見るとそういった効果があるのかもしれませんが、ただこの 3 工場というか、この新門司工場というのを稼働させるとするといつか物理的に入るものですから、建替え時期というのが来るかと思えます。そうなるやっぱり建設費ってどんどん上がっていっていますし、焼却炉ってかなり高額であったり、あとはやはりある程度の企業数は限られていたりなど、かなり高額になる要素というのが考えられると思えます。

なので、今のこの 10 年で考えるところだけでも、本当にもう少し長期的に見たら本当にそうなのかというところは少し疑問に思ったところです。

まずは、どこまで長期的に見るのかということもありますので、この分析で特に問題があるというわけではありませんが、やはり後に 2.3 億円のコスト削減というところが本当にそういった効果が出る

のかなというところは少し疑問に思うところです。財源収入とか額も政策によって変わってきたりすることもありますし、そして今はカーボンニュートラルというようなところでかなりCO₂を排出するようなところに対しては違うもので策を講じるなどそういったことも求められることになる、本当にこういったところで大丈夫かなというところだけは思ったところです。多分担当課の方もそこら辺は重々承知の上で、気づいた点としてコメントさせていただきました。

●事業課

大きく2つ、ご質問いただいたということでまず1点目ですね、10ページの部分で、平成26年ぐらいに少し処理能力がオーバーしているように見えるけれども、いうところでございます。

これは確か熊本の地震、こちらの災害ごみをかなり大量に受けた時と記憶しております。この時はやはり、工場のオーバーホールとかそのあたりを少し工面しながらできる限り受けると、あと、ごみピットの容量なども活用しながらできる限り、災害復旧に協力するというところで頑張った結果というふうに理解していただければと思います。

それとコスト面について、こちらもいろいろな視点をもって検討してみたほうがいいのではないかと、というご意見だったのではないかと思います。確かにおっしゃる通り変動要因というのはいろいろとありまして、昨今言われているところではコークスの費用の変動が非常に大きかったり、売電の価格もやっぱりちょっと変動したりといったようなこともありますので、そういった多くの視点で、引き続きこの辺はよくウォッチをしていきたいと思っております。

○座長

この16ページ経済性のところでは、他都市のごみの処理による収入は入っているのですか？

●事業課

入っておりません。工場ごとの数字は、大体半分近くが新門司だったと記憶しております。

○座長

そうすると少し優位性もちょっと出てくるということですね。

●事業課

ただ、3工場についてはそれぞれがオーバーホールを行うときに、ごみを振り分けながら受け入れておりますので今回においてはあまり考慮せずに一体で見た方がいいかと思います。

○構成員

ごみ処理工場については1日も早くやっていただきたいと思っているのですが、ちょっと前に地震があったじゃないですか。新門司工場っていうのは、南海トラフとかいう話もときどき入ってきたりしているんで、大丈夫なのかっていうふうなところも考えたりするんですよ。

いつ災害が起こるかかわからないので、ごみ処理工場が稼働できるように、市としては考えていらっしゃるのでしょうかという質問と、災害ごみを受け入れた場合に国から何かいただけるのかなと思いました。

●事業課

現在3工場ございます。その中で新門司工場については実は地震については断層の面からいうと、あの辺りにはそういった気になるものがございませぬので、そういった時は少し安心な場所に建っているというふうには考えています。

ただ海近いところですので、以前の古い旧新門司工場では、台風のときにちょっと高潮が来て、地下

の方が水に浸かるようなことがございました。そういった経緯も経験をしておりますので、現在の工場ではそういった水が来ても工場が止まることのないように、例えば電気系統を2階にあげるとかそういったことは十分に対応しております。

それと災害ごみを受けた時の国からの支援ということにつきましては、これは特段そういったところでの支援はございませんけれど、新しく工場を建てるときにそういった災害のごみ受けることを考慮して、ごみの処理量を決めるということについて、国からの交付金を受けられることができるといった仕組みがございます。

○座長

インフラで、例えば水道関係の設備とか耐震性とかもすごくこだわって毎年多額の金額を入れて、改修を現在やっています。ごみ処理施設もやはり大きな災害があったとき、大量のごみがやっぱり発生しますので、止まるとかなり大変なことになると思います。

耐震性の配慮というのは、今のところはちょっとこう読み取れないのですが、検討する余地というのはあるのでしょうか。

●事業課

今回は基幹改良ということですので、非常に大きくそのあたりに配慮しているというところはないのですが、やはりこれは建替えの際に十分に検討していく事項だと思っています。

例えば、今建替えをしている新日明工場、こちらではそういった災害対応、耐震災性といいますかね、震度6以上でも工場に被害が及ばないような設計、これを求めて実際に実現しようとしております。

○座長

とはいえ、基幹改良の際でも可能な範囲では少し耐震性の配慮をやはりしていただきたいとおもっております。

○構成員

耐震性の建物というのは頑張れると思うのですが、実はそこに至る道路の方が気になります。要は建物のほうはいいけれど荷物が運べないというのも仕方ないので、この事業ではないのですがこういった大切な施設の場合は周辺の搬入につかう道路が災害に強いかどうかのチェックする仕組みはどこかでもっておかなくてはいけないのかなと思います。

10 ページの話なのですが、もうすこしお金をかけたらもう少し寿命を延ばせるとか、もう少し節約すれば寿命が短くなるとか、3つの工場をうまくローテーションさせるタイミングを投資額で調整することは可能なのだろうか、もしくはもう少し金額をかければ延命処置ができる可能性があるのだろうかということ、あるいは10年が目途だからこの金額になっているのか、そのあたりの金額と寿命の関係性についてお願いします。

●事業課

まず1点目、地震に関する搬入に使う道路ですね、この辺りについては道路を管理している建設の方とも情報共有、連携しながらこの事業を進めていきたいと思っています。

それと工場の寿命を長くするとか短くするとかいったところの工夫、これについては先ほどの話と重なるところもあるのですが、いくらかけたらこの工場がどれだけ延びるかというの、おそらく個々の工場でだいぶ性格が異なってくるところもあろうかと思っています。

従って、一旦基幹改良をして延命した後に、また寿命が終わりに近づくころに改めて設備の状況をよく確認しながら、どれぐらいのところが費用対効果がいいのかを見極めながら進めていきたいと思っています。

○構成員

では、そういったやり方も定まっているのでそれによって金額も寿命も自動的に定まるということで、逆にどのくらい持つかというのは今、明確に分からないということですね。

////////////////////////////////////

それではご意見をいただきましたので、ここで皆様の意思確認をしていきたいと思えます。

構成員の皆様の一つ、確認しておきたいと思っております。基本的に、当該事業をこの計画で進めていくことに対して、ご異議、ご意見等はございませんでしょうか。

(異議なし)

異議なしということによろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、当該事業については、この計画どおり継続していくことを前提としたうえで、検討会議としての意見を整理しておきたいと思えます。

////////////////////////////////////

1 点目はCO2の削減ですね、3%以上の工夫を引き続きお願いしたいと思えます。

2 点目は3工場の稼働のローテーションですね。これはしっかり現状ではなされていると思えますが、今後も基幹改良工事や建替え時にローテーションに配慮しながら、適切に稼働の方をお願いしたいというところが意見の一つとしてありました。

3 点目、これは直接的にはこの基幹改良事業とは関わらないかもしれませんがやはり近年の地震を踏まえまして、耐震性につきましては基幹改良においてもぜひ工夫の方をよろしくをお願いしたいということでございます。特に建物耐震以外にも搬入道路のチェックであるとか、できる範囲のところで都市としてのいわばサステナブルな活動が維持できるような形での事業展開というのをぜひお願いしたいというところですね。

以上、3点について、このような意見を公共事業評価に関する検討会議の意見としたいと思えますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

それでは具体的な記載内容につきましては、座長である私がお預かりしまして事務局と調整させていただきます。よろしいですかね。

(異議なし)

はい。それから、本日の会議資料に議事録については後日、市のホームページに掲載することになりますが、議事録については私が事務局と調整させていただきたいと思えます。

それでは今後の予定につきまして事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

ただいま構成員の皆様のご理解をご了承いただきましたとおり、新門司工場基幹改良工事（延命化）につきましては、現計画のとおり事業を継続させていただきたいと思えます。

今後の予定といたしましては、本日の検討会議の意見を踏まえまして、市が対応方針案を作成し、パブリックコメントの手続きに入らせていただきたいと思います。以上でございます。

○座長

ありがとうございました。

それではこれで本日の検討会議を終了したいと思います。皆さん、大変、お疲れ様でした。